

APPC-AIP WIP セッションの参加報告

2016/12/8

【会議名】

APPC-AIP (Joint 13th Asia Pacific Physics Conference and 22nd Australian Institute of Physics Congress)

【会期】

2016年12月4日—8日(5日間), ただし WIP セッションは, 12月6日に開催

【開催場所】

Brisbane Convention and Exhibition Centre (BCEC), ブリスベン市 (オーストラリア)

【開催主催】

Association of Asia Pacific Physics Societies (AAPPS)

Australian Institute of Physics (AIP)

【目的】

APPC2016 の WIP (Women in Physics) セッションの中で, ジェンダーの多様性を通して物理が発展するよう, アジアパシフィック国間で女性研究者の環境改善を含めた男女共同参画活動を紹介および議論して, 国際交流を推進する。

【参加状況】

7カ国 (オーストラリア, 日本, 中国, 韓国, 台湾, インドネシア, フィリピン) 以上から約 80 名以上

【日物応物連絡会からの参加者】 合計 4 名

森 初果	東京大学 教授	日本物理学会
野尻美保子	高エネルギー研究所 教授	日本物理学会
増田 淳	AIST 副研究センター長	応用物理学会
河西奈保子	NTT 主任研究員	応用物理学会

【会議日程】

12月6日

(1) 7:30-9:00 WIP ブレックファーストミーティング

- (2) 9:00 -10:30 プレナリーセッション 2
- (3) 11:00 -12:30 WIP セッション 1
- (4) 14:30 -16:00 WIP セッション 2
- (5) 18:00 -20:00 ポスターセッション 2

【会議概要】

APPC13 は、オーストラリア物理学会(AIP Congress)と合同で APPC-AIP 会議となり、約 700 名,当日登録を入れると全体で 850 名が参加した。事前登録の 73%がオーストラリアからで、次に多いのが 11%の日本あった。(図 1) WIP セッションは、12/6 に朝 7:30 のブレイクファーストミーティングから、プレナリー、AM, PM セッション、ポスターと夜の 20 時まで集中的に行われ、80 名の会場が満席になるほどの参加者があり、活発な意見交換がなされた。

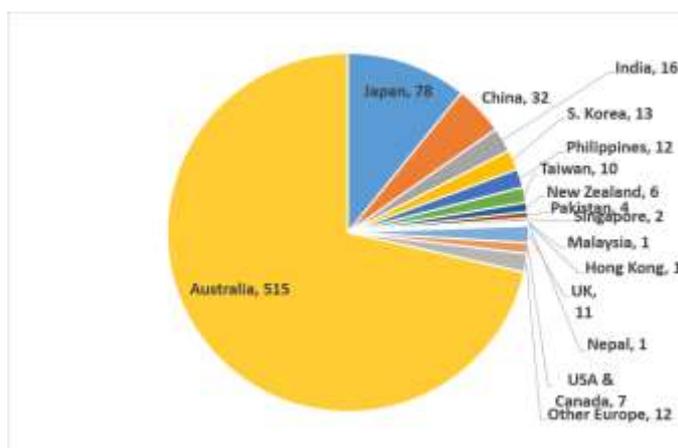


図 1 APPC-AIP の参加登録者

【日本からの発表】

日物応物連絡会は、口頭発表 1 件、ショートプレゼンテーション 3 件、ポスター発表を 2 件行った。それぞれの著者とタイトルは以下のとおりである。

口頭発表

•H. Mori, M. Nojiri, A. N. Itakura, N. Kasai, and A. Masuda “Activities of JPS– JSAP Liaison Committee on Women in Physics”.

ショートプレゼンテーション

- A. Masuda and N. Kasai, “JSAP’s Activities for Promotion of Women in Physics (1)”
- N. Kasai and A. Masuda, “JSAP’s Activities for Promotion of Women in Physics (2)”

•M. Nojiri, H. Mori, and A. Itakura, “Recent activities of gender equality promotion in the Physical Society of Japan”.

ポスター発表

• M. Nojiri, H. Mori, and A. Itakura, “Recent Activities of Gender Equality Promotion in the Physical Society of Japan”.

•N. Kasai and A. Masuda, “JSAP’s Activities for Promotion of Women in Physics”.

【会議の詳細内容】

(1) 7:30-9:00 WIP ブレックファーストミーティング (図 2)

ブレックファーストミーティングは Australian Research Council の研究機関である Engineered Quantum Systems からのスポンサーシップを受け、Women in Physics 関係では初の試みとして実施された。7時半からの早朝開始にも関わらず、100名を超える参加者があった。

Australian Institute of Physics の Warrick Couch 会長の挨拶に引き続き、University of Sydney の Prof. Nalini Joshi (専門は数学) の講演があった。自身のキャリアパスについて紹介した後、いわゆるジェンダーバイアスにより、女性が筆頭著者の論文の引用が少ないことや、女性が申請する補助金の採択率が低いことなどが問題点として挙げられた。



図 2 WIP ブレックファーストミーティング

(2) 9:00 -10:30 プレナリーセッション 2

韓国 Korea Institute of S&T Evaluation and Planning (KISTEP)の Youngah Park (President) から、W-leadership, key driver of innovative engines との題目でプレナリー講演があった。Dr. Park は研究者ながら、議員経験もある。

KISTEP の紹介等につき、韓国では欧州の先進国に比べ、女性研究者の比率が低いこ

とが問題点として挙げられた（2014年時点、それでも、日本よりも4ポイント近く高い）。

2015年の韓国でのGender Summit開催等を通じて、ジェンダーイノベーションを図り、このことにより知識の増進、イノベーションの増進、持続的成長が可能であるとの説明があった。ジェンダーイノベーションの推進には政策が重要であり、現在実施中のGender Innovations Index (GII)プロジェクトについて説明があった。状況分析により、韓国は知識のインフラと研究開発に関して他国より秀でているものの、社会基盤や女性の社会的地位の点で劣ることが示された。

(3) 11:00-12:30 WIP セッション1 (図3)

午前のセッションはアジア太平洋圏の各国の男女共同参画に関する状況報告が行われた。

最初の演者であるインドネシアのNational Nuclear Energy AgencyのEvvy Kartini教授は、両親の期待に反して物理学を専攻し、父親からのアドバイス、PhDを取得する・プロフェッショナルになる・国際的に活躍するという3項目を実現して活躍する女性核物理学者。科学技術で女性が活躍するため、アジア各国に共通する課題10項目を挙げ、学生時期において女性のクラスメートやロールモデルが少ないため不安に感じることや、女性は上昇志向が低いケースが多いことが挙げられた。

韓国Inha Univ.のJin-Hee Yoon教授からは、韓国物理学会における状況が報告された。韓国物理学会の主な活動は、女子学生に向けたPhysics Camp、高校教員との情報交換、女性教員が少ない大学への訪問、年2回の学会期間中のシンポジウムや交流会、学会員の調査分析である。韓国物理学会の女性会員は15%、学会賞の受賞者は25%におよび、シニア層に女性が増えている。日本よりも女性の割合が多いが、それでも女性研究者の多くは男性よりも2倍以上努力が必要であると感じている、と紹介された。

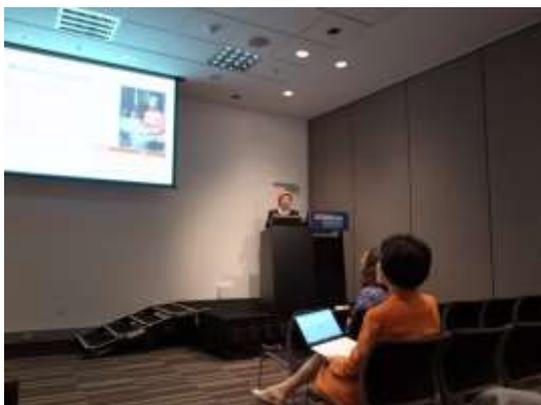
National Taiwan Normal UniversityのYi-Chun Chen教授からは、台湾の複数の活動について紹介があった。最近の活動としては、出産等のイベントを経験した女性研究者の評価や任期期間を延長することや、ロールモデルを紹介するDVDを作成し高校などに配布したことを挙げた。学生の女性比率が15%であるのに比べ、教授は7%とまだ低く、女性が理想を高く掲げてあまり応募していないからかもしれない、と分析していた。

日本物理学会の森 初果教授（東京大学）から、日本物理学会・応用物理学会の連絡会についての説明、および日本物理学会の活動紹介がなされた。特に、日本物理学会・応用物理学会とも、女性会員が6%と低いのが課題であることが言及された。日本物理学会は会長のリーダーシップで、理事の25%を女性とし、他の委員会も多様性を鑑みた構成に配慮していることが報告された。また男女の研究時間の長さの比較をしたところ、全体的な長時間労働についての質問が上がり、現在はワークライフバランスの向上が一つのテーマになっていることも説明された。

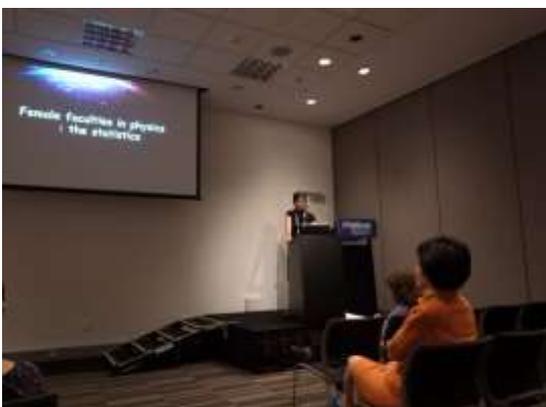
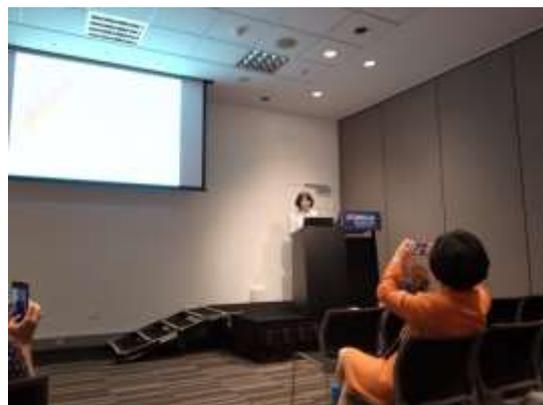
Chinese Academy of Sciences の Kuijuan Jin 教授からの講演では、中国の科学技術分野では女性研究者比率が 35%と高く、物理分野でも学生 20%、助教 15%、准教授や教授は 20%と高い比率である。特徴的な委員会活動としては、年 1 回の遠隔地への講演会の遠征である。その地域の大学の女性研究者や女子高校生に向け、女性研究者が講演するという活動であり、今年その 4 回目が実施された。

最後に、プレナリー講演の演者でもある Youngah Park 氏からは、AAPPS-WIP の活動に関する総括がなされた。AAPPS-WIP では毎回課題項目が共有されており、2010 年には大規模サーベイ・女子学生に適した物理教育・女性研究者への助成や賞・ネットワーキングが課題とされてきた。今回は、2012 年に長期的な取り組みとして提案された、組織内女性比率を 30%、賞における女性候補者リストの作成、会長の女性候補者提案のための準備、Web ページの立ち上げなどが課題として再度共有され、特に、学会におけるプレナリースピーカーおよび理事の女性比率を 30%にすることを目標にするということで、各国の Gender Equality への取り組みを激励しあった。

(a)



(b)



(c)



(d)

(e)



図3 (a) Evvy Kartini 教授, (b) Jin-Hee Yoon 教授, (c) Yi-Chun Chen 教授, (d)WIP セッション1の講演者、(e)参加者の集合写真。

(4) 14:30 -16:00 WIP セッション2 (図4)

午後のパラレルセッションでは Kate Jolilife 氏 (University of Sydney) が女性研究者のオーストラリアの大学の昇格に関する問題とその対策について報告した。オーストラリアでは研究者の昇格 A (PD レベル) から E (教授総統まで) 毎年の応募とその審査によって進むが、女性の昇格は男性に比べて少ない状況にある。応募者の昇格が認められる率は男女に差がなく、女性が昇格審査そのものに応募しない傾向があることが明らかになり、これはとくに Go8 と呼ばれる有力大学に顕著である。そこで **strategic promotion advice and mentoring (SPAM)** という制度が導入され、この結果として准教授から教授への昇格への応募が増え、女性研究者の教授と准教授の実数が逆転することになった。また昇格の結果の満足度が調査され、労働に対するプレッシャーが高まったが、組織運営に参加できる点について満足度は上がっていることが報告された。

次に Helen Maynard-Casely 氏 (Australian Nuclear Science and Technology Organisation) が WOI の活動について報告し、オーストラリアで行なわれている **Women in Physics Lecture Tour** (2500 名程度の高校生、大学生に対するレクチャーを実施) 等の活動が報告された。

また、増田、河西が応用物理学会、野尻が日本物理学会の活動について報告した。

一方パラレルセッションのディスカッションは主にオーストラリア賞の選考におけ

る男女比についての議論に終始した。

(a)



(b)

(c)



(d)



図 4 WIP セッション 2 の講演者。(a) Kate Jolliffe 教授, (b) Atsushi Masuda 副研究センター長, (c) Nahoko Kasai 主任研究員, (d) Mihoko Nojiri 教授。

(5) 18:00 -20:00 ポスターセッション 2 (図 5)

WIP では、連絡会の 2 件の発表があった。遅い時間であったにもかかわらず、日本物理学会の藤井会長、応用物理学会の横山副会長、フィリピンからの留学生、WIP の関係者などが立ち寄られ、有意義な意見交換を行うことができた。

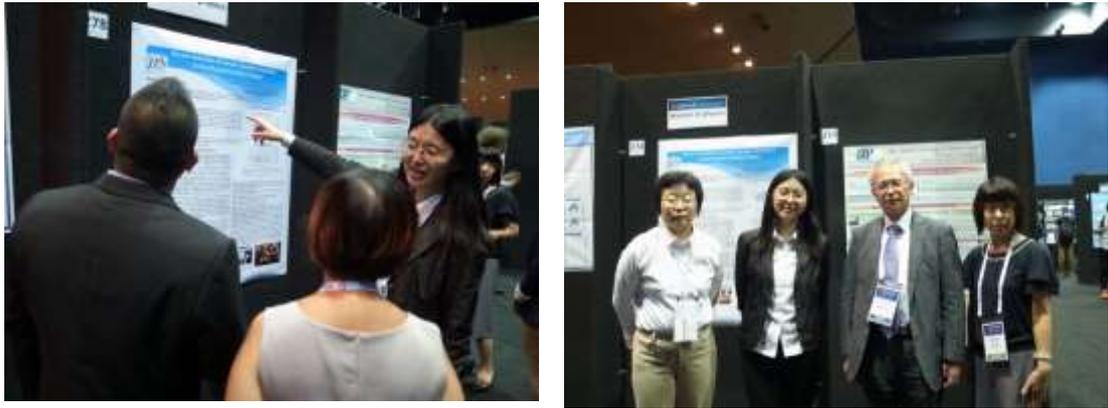


図5 ポスターの説明と APPC-AIP 日物応物連絡会参加者の集合写真

会議全般に関して

日本（千葉県幕張市）で開かれた APPC12 に続き、APPC13 は AIP Congress(オーストラリア物理学会)との合同でブリスベンの会議場にて開催された。

課題としては、Earlybird で 800 AUD（約 68,000 円）と前回の APPC12 よりも倍近い額で設定され、多くの研究者及び学生が参加しづらい会議となったという点である。

また、WIP セッション 2 の後のディスカッションは主にオーストラリア賞の選考における男女比についての議論に終始した。今回の会議では一定の国際交流（アジア圏の主要国はほとんど参加）が行われたものの、Women in physics breakfast や discussion session での議論が主にオーストラリア内の問題を意識した内容で、国際会議として改善の余地があるものであった。この点については、セッションコンビンナーが国際化されているか等、事前のチェックや要望を行っていくことが重要だと考える。

参加者の数が懸念されたが、AIP と合同となった効果もあり、全体で 850 名となり、WIP のセッションも朝食会議は 100 名以上、セッションも 80 名の会場が満席になるほど聴講者がおり、討議も活発になされていた。

APPC13 に参加することで、アジア各国の男女共同参画に関して理解が深まったとともに、各国との比較により日本の男女共同参画の課題が浮彫りになったと感じた。また、日本の特徴を生かした取り組みを継続的に行っていくことが必要と考えた。

セッションでは、日本と共に、インドネシア、中国、韓国、台湾が、各国の男女共同参画に関するデータとその活動を紹介した。アジアの中において、女性研究者比率が 14% と日本とほぼ同じであった韓国でも、韓国物理学会の(KSP)の女性会員比率は 15% と報告され、日本物理学会と応用物理学会の 6% に比べて倍以上であることに感じ入った。日本も、男女共同参画委員会の活動は活発に継続しており、さらに学会のトップが、

ジェンダーの多様性が組織には必要であることを認識し、学会の理事会、委員会を構成していることは以前と大きく異なる。今後5-10年後に、世の中共々大きく変化すると思うが、少しずつではあるが、ジェンダーの多様性が、組織、学問分野、次世代人材に反映されていってほしいと強く思った。

来年2017年は、5月にGS10が東京で開催され、7月にIUPAP-WIPが英国で開かれる。また会議での再会を約束して、WIPセッションは散会となった。

(報告者)

森 初果	東京大学 教授	日本物理学会
野尻美保子	高エネルギー研究所 教授	日本物理学会
増田 淳	AIST 副研究センター長	応用物理学会
河西奈保子	NTT 主任研究員	応用物理学会

参考

APPC-API プログラム

Tuesday 6 December 2016 - Day sponsored by IOP Publishing		IOP Institute of Physics						
0700-1800	Registration open (Foyer)							
0730-0900	Women in Physics Breakfast (Room P1)						Sponsored by:	
								
0900-1030	PLENARY SESSION 2 (Great Halls 1 & 2)		Chairs: Mitsuru Kikuchi and Cathy Foley					
0900-0945	Progress of ITER and related physics issues Jean Jacquinot, Senior advisor to the ITER Director General							
0945-1030	W-Leadership, Key Iver of Innovative Engines Youngah Park, President of Korea Institute of S&T Evaluation and Planning (KISTEP)						Sponsored by:	
								
1030-1035	IOP Publishing Presentation Roy Sambles, University of Exeter							
1035-1100	Morning Tea (Great Halls 3 & 4)							
1100-1230	CONCURRENT SESSION 4							
	ADS Session 4	ATMOP/QUICC/ADS Session 4	QUICC Session 4	Bio/Med Phys 1	NUPP Session 4	CMM/ASR Session 4	WIP Session 1	Plasma Session 4
Topic:	Precision sensing	Quantum-atom	Continuous variable quantum optics I			Electronic materials and devices 1	A focus on Women in Physics in Asia	Magnetic confinement fusion
Chair:	Warwick Bowen	Haro A. Bachor	Ping Koy Lam	Maryellen Giger	Elizabetta Barberio	Dmitri Goldberg	Helen Maynard-Casely	Shaojia Wang
Room:	Great Hall 1 & 2	M1	M2	P3	P4	P1	P5	P2

1100-1115	Optical microcavity sensing from reactive to dissipative interactions Yun-Ping Xie	Quantum simulations with cold trapped ions Rainer Blatt	Hybrid Quantum Information Processing Akira Furusawa	Brightness and photostability of fluorescent nanomaterials for biomaging Philipp Arndt	Highlights from the LHC-ATLAS experiment Yu Volkov	Set-and-Freeze threshold voltage in nanowire-based devices using polymer electrolyte gates Adam Mizelich	The Role of Women in Physics for the ASD of Basic Science in Indonesia Dvy Hartini	1100-1120 Progress of edge and divertor plasma physics study on EAST Lon Wang
1115-1130				Collagen anisotropy in fibrofibrosarcoma using magic-angle-effect Taruza Ali		Nanoscale Oscillators based on Threshold Switching in NbO _x Robert Eilmer		1120-1140 Multi-species gyrokinetic Vlasov simulations of ITG and TEM in turbulence and zonal flows in tokamak and helical plasmas Miyuki Nakata
1130-1145	Ultra-sensitive and broadband magnetometry using cavity optomechanics Beibei Li	Quantum networks using an integrated ion-photon interface Ayobaki Ghahimi	Surpassing the no-cloning limit with a heralded hybrid linear amplifier Jin-Ran Huh	Constructing stable 3-D cellular assembly by laser with crowding polymer Takahiro Yamamoto	Isovector properties of the nucleon-nucleon interaction from quark-meson coupling Zhen Anwar	Dilate Manganese-doped ZnO Nanowires for High Photoelectrical Performance Man-Shu Ho	Positive Actions of the Women in Physics Committee in Korea Jin-Nae Jeon	1140-1200 Toward Dream Beams: A Personal Perspective on the Physics of Plasma Based Acceleration Wei Lu
1145-1200		Fast Scalable Trapped Ion Architectures for Quantum Information Processing Richard Taylor	Full and efficient characterization of non-Markovian quantum processes Steven Mooli	Speckle enhanced resolution in 3D light-field microscopy Michael Taylor	Spectroscopy of 111 Ge. Challenging the Particle-Vibration Model Sen Coombes	Transforming carbon nanotubes into Nanodiamond Nigel Marks	Developments of Women in Physics in Taiwan Li-Chun Chen	1200-1220 Kinetic-MPD hybrid simulations of runaway electron physics in tokamak disruptions Akinao Matsuyama
1200-1215	Towards a scalable ultra-sensitive optomechanical magnetometer Varun Prasad	Single photon interference from an entangled atom pair Daniel Higginbottom	Hybrid reduced-noise linear amplifier for coherent states Jie Zhao	Evanescent single-molecule biosensing with quantum limited precision Nicola Marzari	Measurement of the Higgs boson production cross section and signal strength Antar Arora	Observing current flow in graphene with a diamond quantum imager Jean-Philippe Tetienne	Activities of JPS-ISAP Liaison Committee on Women in Physics Natsumi Mori	
1215-1230	TorFEDO Simulation and Control: Building a Torsional Gravitational Wave Sensor Perry Forsyth		Non-Gaussian entanglement from optical fibre Joel Conroy	Fibre-integrated Brillouin microspectroscopy: the first step towards Brillouin endoscopy Irina Kobelova	Belle II Silicon vertex detector electrical assessment using infrared laser James Webb	Switching effect in InGaAs Chalcogenide Semiconductors Kevin Aulion	Chinese Women in Physics Gujuan Jin	
1230-1400 Industry Day Lunch (Lunch is included for all attendees)								
1230-1400 Australian Optical Society Council Meeting - Invitation only (Room: M1)								
1330-1400 Australian Plasma Physics Community Meeting (Australian TER Forum) (Room: P2)								
1400-1430 Medal Session 2: Ruby Payne-Scott Medal (Great Halls 1 & 2) Chair: Andrew Peole								
1430-1600 CONCURRENT SESSION 5								
Topic:	Optical tweezers	Applications II	Quantum computation and simulation II			Electronic materials and devices 2	Moving forward for Women in Physics	Plasma processing/basic/spac e
Chair:	Michael Taylor	Thomas Stace	Geoff Pryde	Christian Langton	Tibor Kibedi	Steve Lee	Joanna Turner	Anthony Murphy
Room:	Great Hall 1 & 2	M1	M2	P3	P4	P1	P5	P2
1430-1445	Optically driven plasmonic nanorotors Mikael Aziz	Precision measurements of frequency ratios with optical lattice clocks Julia Nemitz	Experimental demonstration of multiqubit controlled-unitary operations Joseph Ho	Measurement of radiation therapy beams in the vicinity of high density objects using optical gel dosimetry Jamie Tropp	Structure of Finite Nuclei starting at the Quark level Anthony Thomas	Growing graphene on semiconducting nanostructures: atomic scale physics and applications Auricio Alota	Strategic Promotion Advice and Mentoring for Women in STEM Kate Jolliffe	1430-1450 Nonthermal acceleration of relativistic particles due to turbulent wakefield Yasuhiro Kurokawa
1445-1500				Method for Structure Determination of Individual Molecules using Single Qubit Viktor Anisicic		Hybrid nanowire ion-to-electron transducers for integrated bioelectronic circuitry Adam Mizelich		1450-1510 Gas Plasma in Liquid - Exciting Opportunities Jone Dai
1500-1515	Sculptured light in a single pass: interpretation, applications & optimization Alexander Blöchl	Inverted crossover resonance with 171Yb and laser cooling to 20µK John McFerran	Discriminating quantum states with minimum average number of resources Sergei Sluzarenko	Optical rotational microtechnology of biomimetic systems Shu Zhong	Magnetic moments and hyperfine fields with labr detectors and pulsed beams Timothy James Gray	On-surface synthesis of iron-terpyridine nanochains Agustin Schiffrin	What's the current situation for women in physics in Australia? Helen Alzayad-Casely	1510-1530 Plasma delivery of RbO ₂ into tissue fluid and tissue Endre Szil
1515-1530	Finite difference time domain method for computationally modeling optical trapping Isaac Lemon	Loading of Magneto-Optically cooled Rubidium Atoms into Hollow-Core Photonic-Crystal Fibre Ariky Milton	Proposal to outperform a classical computer using current technology Jie Hope	Effect of pulse parameters on infrared nerve stimulation in vitro Blake Zlotnick	SABRE: Direct Dark Matter Detection in the Northern and Southern Hemispheres Francesco Nali	Spin-orbit coupling in cyclic molecules and molecular crystals Anthony Jocke	Presentation of posters IAP's activities for promotion of "Women in Physics" AGSM/ Mtsuda Recent Activities of Gender Equality Promotion in JP Nojiri Mafoko	1530-1550 Development of surfaces to preserve and release growth factors Jason Whittle
1530-1545	Absolute calibration of optical tweezers for measurement of non-optical forces Ann Jui	Steady-state and dynamic density matrix solutions of metastable state transitions Mikol Dzik		Computer-Aided Diagnosis and Deep Learning in Breast Cancer Imaging Moryslen Oger	Reconsidering leptogluon: flavour anomalies and opportunities for neutrino mass Johnathan Dargatzis	Equilibrium between Free and Bound Charges in Organic Solar Cells Arbain Amin	Structured discussion on women in physics: bring your data - getting a snapshot of women in physics in the region	
1545-1600	Ultra-high bandwidth tracking of micro/nano particles in fluid Muhammad Waleed	Dynamics of Stationary Light Jesse Zwanett	Quantum simulation of the Hubbard model with dopant atoms Sven Rogge			Effect of thermal annealing emissive layer on efficiency of OLEDs Surya Tambam		



NO.	PRESENTER	POSTER TITLE	NO.	PRESENTER	POSTER TITLE
142	Andreas De Lima Ribeiro Macquarie University	Water temperature measurement using blue excitation and two-channel Raman spectrometer	229	Christopher Chubb University of Sydney	Approximate symmetries as witnesses of ground space degeneracy
143	Robert Donaldson Queensland University of Technology	Nonlinear Optical Response with Dependence on Optical Vortex Mode	231	Josephine Dias University of Queensland	Continuous Variable Quantum Repeaters
144	Joanna Harrison Defence Science & Technology Group	Dense wavelength division multiplexing of 32 distributed feedback fibre lasers	232	Tingge Gao Australian National University	Talbot Effect for Electron Polaritons
145	Ashleigh Hartman RMIT University	Nanodiamond arrays for colour centre characterisation and quantification	233	Parth Gidhar University of Sydney	An Equivalence Between EPR-Closing and Bell Nonlocality for Two Qubits
146	Daniel Higginbottom Australian National University	Quantum non-Gaussian photons from a trapped atom source	234	Kaito Hibino Hiroshima University	Action as the link between classical dynamics and quantum coherence
150	Shuo Li Swinburne University of Technology	2D Photonic Crystal Flat-lenses with Broadband All-angle Negative Refraction	235	Mahmood Hussain Griffith University	Fast trapped-ion quantum logic gate source
155	Kerry Mudge Defence Science & Technology Group	Characterisation of atmospheric scintillation effects on free-space optical communication links	236	David Ing RMIT University	Signatures of correlated noise in two-dimensional electronic spectroscopy
Plasma physics			238	Markus Jerger University of Queensland	Using a Superconducting Qubit as a Microwave Vector Network Analyzer
160	Santanu Banerjee Institute for Plasma Research	Statistical features of coherent structures at increasing magnetic field pitch investigated using fast imaging in QUEST	239	Ryan Marshman University of Queensland	Error Averaging as Error Correction in Quantum Computation
162	Huizhan Cai University of Science & Technology of China	Influence of Energetic Ions on Tearing Modes	250	Jingbo Wang University of Western Australia	Quantum centrality testing on directed graphs via PT-symmetric quantum walks
169	Devki Gupta University of Delhi	Onset of stimulated Raman scattering of a laser in a plasma in the presence of hot drifting electrons	Synchrotron science		
181	Tsuyoshi Inoue National Astronomical Observatory of Japan	Toward Understanding the Cosmic-ray Acceleration at Young Supernova Remnants Interacting with	270	Christopher Chandler University of Melbourne	Hybrid VQE technique for dense 1-15nm/l solutions at high accuracy
194	Jian Liu University of Science & Technology Of China	Lorentz-covariant Symplectic Algorithms for Charged Particle Dynamics	Women in physics		
196	Wei Lu Tongji University	Nonlinear Theory for Relativistic Plasma Wakefields in the Blowout Regime	277	Nandini Kaul IIT Basic Research Laboratories	ICAP's activities for promotion of 'Women in Physics'
197	Kishore Mishra Institute For Plasma Research	Self-organization of high β_0 plasma equilibrium with an inboard poloidal magnetic field null in QUEST	278	Mithika Nair IISc	Recent Activities of Gender Equality Promotion in IISc
200	Ramprasad Prasad Guru Granth Sahib University	Rayleigh-Taylor instability in non-uniform magnetized rotating strongly coupled viscoelastic fluid			
202	Hajun Rah University of Science & Technology of China	Analytical collisionless damping rate of geodesic acoustic mode			
205	Solmaz Saboohi University of South Australia	Hypothermal Hot Molecular Ions Play Key Role in Retention of ATP Surface Initiation Capability of			
206	Heminda Galapera B University of the Philippines Manila	Stability of the hydrophilic and superhydrophobic properties of oxygen plasma-treated			
213	Ata ur Rahman Islamia College Peshawar	Envelope solitons in a Thomas-Fermi plasma			
217	Hao Wang National Institute for Fusion Science	Hole-Drip Pair Creation in the Evolution of Energetic-Particle-Driven Geodesic Acoustic			
219	Nith Yadav IIT Delhi, India	Nonlinear Interaction of 3D KAW and Ion Acoustic Waves			
221	Frank Zhao Australian National University	Magnetic Configuration Effects on Edge Turbulence in the HL-2A-Fusion			
Quantum information, concepts and coherence					
223	Travis Baker Griffith University	Conditions for the Non-Steerability of Quantum States			
224	Ben Baragiola Macquarie University	Anonymous Broadcasting with a Continuous-variable Topological Quantum Code			
225	Matthew Barrington Australian National University	Towards long term storage of quantum entanglement			
227	Jacob Bridgeman University of Sydney	Detecting Topological Order with Ribbon Operators			
228	Roland Christopher Cabellar University of the Philippines Diliman	Continuous-time dissipation assisted quantum walks on a finite lattice			